

開催月日 令和7年1月20日（金）

開催場所 教育会館201, 202会議室

令和6年度

第4回

調布市立染地小学校施設整備検討委員会

【事務局】

定刻となりましたので始めさせていただきたいと思います。本日はお忙しい中、御出席いただきましてありがとうございます。

早速ですが、検討委員会の方を進めさせていただきたいと思います。

始めに、本日、机上配布させていただきました資料の確認をさせていただきます。

まず始めに、資料番号の付番がありませんが、

「第4回 調布市立染地小学校施設整備検討委員会 次第」です。

本日の次第の下段を御覧いただきまして、【配布資料】の一覧を基に確認をお願いします。

資料1 第3回調布市立染地小学校施設整備検討委員会 概要

資料2が4点、アンケート調査の集計結果となります。

資料2-1 児童

資料2-2 教職員

資料2-3 保護者

資料2-4 市民

以上が資料2となります。

続いて、

資料3 調布市立染地小学校施設整備の基本構想 施設整備方針（案）

続いて、資料4が2点

資料4-1 校舎配置計画比較検討（案）

資料4-2 校舎内部ゾーニング（案）

最後に、

資料5 調布市立染地小学校施設整備基本構想（素案）

参考資料

以上が、本日配布させていただきました資料となります。ここまでの資料に不足がある方はいらっしゃいますでしょうか。資料の過不足がございましたら、事務局にお申し付けください。よろしいでしょうか。

それでは、これからの進行は阿部委員長にお願いしたいと思います。阿部委員長よろしくお願ひいたします。

【阿部委員長】

改めまして皆さんこんにちは。本年1回目ということになりますけれども、皆さんよろしくお願ひいたします。

既に3回の会議が終了し、今回が4回目と言うことで、事務局の当初の説明では5回でしたので、もう一通り結論を出すというような、そういった流れに

なっているというふうに聞いております。今回と次回でということでもよろしく
お願いしたいと言うふうに思っているところでもあります。

今日は委員さんも少し顔ぶれが変わっている部分もあります。また、学校の
先生方もはまだ授業中ということもありまして、まだいらしていないと聞いて
おります。

それでは、前回の会議でございますけれども、基本構想の具体的な内容につ
いて議論を進めさせていただきました。様々な御意見を頂きまして、本日はそ
の事を踏まえたうえで、最終的な取りまとめの作業に向けて、引続き議論を進
めていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

今日の次第を、皆さん見ていただきますと、議題が（１）から（４）までと
なっています。メインとなるのが（３）。本日の会議のメインの議題というこ
とになろうかと思っておりますので、また、後ほど事務局からも説明があると思
いますがよろしくお願いいたします。

それでは、４つの議題を限られた時間の中で、なるべく進行をスムーズに進
めてまいりたいというふうに思っておりますので、御協力のほどよろしくお願いいたします。

それでは最初に出席委員数について事務局から報告をお願いいたします。

【事務局】

本日、佐藤委員から欠席の御連絡いただきましたが、代理出席で岡本委員と
なります。それから米山委員、星委員の２名が少し遅れると連絡を頂いており
ます。

本日の検討委員会については現在１３名の委員が出席されておりますので、
調布市立染地小学校施設整備検討委員会設置要綱の第６、第２項の規定されて
いる定足数に達しております。

【阿部委員長】

ありがとうございます。定足数に達しているとのことですので、引続き委員
会を進めてまいりたいと思っております。

それでは、次に、本日の傍聴希望者についてはどのような状況でしょうか。

【事務局】

本日の第４回検討委員会の開催について、市ホームページでの告知に際して、
傍聴の件を周知させていただき、１名の方から傍聴を希望する旨の連絡がござ
いました。このため、本日の傍聴者は１名です。以上です。

【阿部委員長】

ありがとうございます。それでは、傍聴者の方の入室をお願いいたします。

(傍聴者入室)

それでは、次に移らせていただきます。

始めに、次第の1，第3回検討委員会の振返りについて、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

それでは、第3回検討委員会の振返りについて報告します。

資料1，第3回調布市染地小学校施設整備検討委員会概要を御覧いただきまして、令和6年12月13日に開催しました第3回検討委員会での会議の概要、議事の要旨を記載していますので、後ほど確認をいただきたいと思えます。

5に記載の質疑応答についてですが、当日の議題としては3件で、特に、議題2，議題3の内容に関する質問について、そのやり取りを中心に記載しております。

また、2ページを御覧いただき、6，その他要望等ということで、各議題の中で頂きました要望事項を記載しました。

当日頂きました御意見や御要望については、この後の議題の中でも触れさせていただきますのでよろしくをお願いいたします。

資料1についての説明は以上となります。

【阿部委員長】

ありがとうございました。資料1ですが、ざっと見ていただいて、何か御不明な点や確認事項等があればお願いしたいと思えますが皆さんよろしいでしょうか。

(特になし)

また何かあれば、後ほどでも結構ですのでお知らせいただければというふうに思います。よろしくをお願いいたします。

それでは次の議題に移らせていただきます。

始めに議題の1，アンケート調査結果について事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

それでは、議題1，アンケート調査結果について説明をさせていただきます。前回の検討委員会では、定量的に集計できたところまでを速報値として報告をさせていただきましたが、本日、用意しました資料はアンケート実施対象者別に自由記述について整理してまとめたものを追記した資料となります。

なお、事前にお送りさせていただきましたアンケート調査結果資料と一部対象者別の並びは前後していますが同様の内容となります。

回答結果としまして、資料2-1は下学年・上学年。資料2-2は教職員。資料2-3は保護者。資料2-4が市民の回答結果となります。回答結果のまとめ方について、資料2-4市民の回答結果資料を使いまして少し説明をいたします。

それでは、資料2-4を御覧ください。右上に資料2-4と記載された資料です。よろしいでしょうか。

資料の上段は、質問1「染地小学校をイメージするキーワードを選択してください。」の設問に対して選択した回答の総計をグラフ化したものです。資料の下段につきましては、非常に多くの回答を頂きました自由記述について、前回の検討委員会の際に自由記述の回答者の全員の意見を伺いたいとのことでしたので、上段の棒グラフの集約した内容の回答数が多い順に下段に、自由記述を御記入いただいた全員の記述を記載しています。

続いて、左側の項目のハチの巣，六角形教室のあとにある(67)は、イメージするキーワードでハチの巣，六角形教室と回答していただいた内、67人から自由記述の任意回答を頂いており、そちらの人数を示しております。3ページまでハチの巣校舎の自由記述を記載しております。質問1については、4ページまで同様の内容で集計した結果を記載しております。

続いて、5ページを御覧いただき、質問2以降の質問に対する集計結果が、今説明しました同様の内容で集計した結果を記載しています。

以上が、回答結果のまとめ方の説明となります。集計しました結果の活用についてですが、この後の議題の2の基本構想((素案))に関わる内容としては、大枠での意見としては、概ね反映できているのではないかと考えています。

今後は、より具体的な検討へと段階的に進んでいきますので、このアンケート調査結果については、今後の検討段階におけるそれぞれの場面において、活用していきたいと考えています。

議題1についての説明は以上となります。

【阿部委員長】

はい、ありがとうございました。議題1，アンケート調査結果について、事

務局から説明が終わりました。前回の検討委員会では、定量的に集計したものを速報として報告をさせていただいたところですが、今回は特に自由記述の部分を整理して一覧にまとめたものとなっております。

これを見ますとハチの巣に対する思い入れというか、これだけ小学校に対して思い入れがある学校というのが、なかなか、ほかではないのかな、なんて感じたところであります。本当に沢山の様な意見を頂きましたので、まずは調査に御協力いただきました市民の皆様には感謝の意を表したいというふうに思っております。

また、各委員の皆様におかれましては、これに目を通すだけでも大変だったというふうに思いますけど、改めて感想でもかまいませんので何かお気付きの点等がございましたら御意見を頂ければと思います。この件について何かございますか。

【山澤委員】

すごいアンケート結果を読んでいて、もうお腹いっぱいになっちゃったかな。両方とも意見があって、ハチの巣校舎が良いっていうのとそうでないという意見と。なおかつ建替えをしたくないっていう意見もあって、これを読みながら建替えしないで、でも今まで私の世代は千人位がああ校舎の中に収まっていたわけだし、あれをリフォームして隣に増設とかもありなのかなとか、なんか変なことを考えちゃったりとかしたので、改めて建替えの必要性、本当に必要なんでっていうところは明確にしないと、この建替えしないで欲しいっていう言葉に対するちゃんとした答えが私の中にまだなくて、もしかしたら今の校舎リフォームでもやっていけるんじゃないか。ただプールのところに必要な物があれば、みたいな考えも、なんかこのアンケート読んでいたら出てきちゃってどうしようっていう感じです。すみません。はい。

【阿部委員長】

はい、ありがとうございます。その辺何か事務局からありますか？

【事務局】

実はこのアンケート調査のほかにも、直接お問い合わせがありまして、要は既存の建物をリノベーションして使うことも考えたらいいのではないかという御指摘も実際にあったところなんです。最終的な話になると基本構想ということで、最後の議題にもあるのですが、建替えに向けた背景というところにその辺の記述が抜けておりますので、盛込むような形を考えていきます。

前回の学校からの意見もあって、やっぱり今の教室が使いづらいついていう状

況もあるので、なかなか今のリノベーションするという話も難しいかなと思っていますので、そういったところを背景に入れながら、建替えをやる目的っていうのですね。もう少し明確にしようかなというふうに思っています。以上です。

【山澤委員】

ありがとうございます。

【阿部委員長】

そのほか何か御意見等ございますか。

(特になし)

よろしいですか。この後次から次へと議題がありますので、その中でまた振り返っていただいて結構ですので、よろしくお願いいたします。

それでは次に移らせていただきます。続きまして議題の2，調布市立染地小学校施設整備基本構想施設整備方針策について事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

それでは、議題の2，調布市立染地小学校施設整備の基本構想施設整備方針(案)について説明します。

資料3をお願いします。資料は、前回の第3回検討委員会における議論を踏まえ、ブラッシュ・アップしたものととなります。

事務局案として提示させていただいた各基本方針において、大きな修正を伴う御意見はなかったものと事務局としては受止めさせていただきました。

頂きました御意見を踏まえ、基本方針において、2点追記をさせていただいております。

また、検討における視点・関連するキーワードには、御意見の中でポイントとなりそうな点について追記させていただきました。なお、前回の資料から加筆した箇所は赤字で表記した箇所となります。

それでは、前回の振返りも含めまして、順番に説明させていただきます。

始めに、基本方針の1「高機能かつ多機能で変化に対応し得る弾力的な教育環境の整備」についてです。

1項目目「新しい施設、地域の特色を生かした学校づくり」では、染地小学校の校舎の特徴でもある、ハチの巣校舎について、様々な御意見を頂き、その

中に「ハチの子」・「ハチの子タイム」といったワードが出てきました。

また、校庭の遊具について話題があり、学校としては珍しく校庭内にブランコが設置されていて、特に特別支援教室に在籍する児童にはとても必要なものとなっているとのことでした。さらに、少し老朽化が進んでしまっているけれども、アスレチックもあり、これも児童にとってはとても大切なものとなっているとの説明がありました。

これを踏まえまして、これまでの染地小学校のイメージというものは、これからも大切にする必要があるので強調するため、丸の4に「これまでの学校のイメージ・印象を大切にしたい学校施設を整備します」という文言を追記させていただきました。

次に、既存の校舎の3階にあります多目的ホール、面積が約300㎡程度で、通常の四角い教室の4倍よりも少し広い空間、スペースが、とても使い勝手のよい場所となっているので、新しい校舎にも同じようなスペースがあったほうがよいよねという御要望がありました。

内容としては、基本方針1の3項目目「一人一台端末環境のもと、個別最適な学びの環境となる学校づくり」と関連する内容と考え、検討における視点・関連するキーワードに「ホール」を追記しました。

本文に関しては、この項目の丸の2に記載の内容に包含されているものと捉えさせていただきます。

続きまして2ページをお願いします。基本方針の2「健康的かつ安全で豊かな教育環境の確保」についてです。

まず初めに、防犯対策・安全面への配慮については、しっかり考えてほしいといった御意見がありましたが、1項目目の「だれもが安全・安心に利用できることに加え、防犯面にも配慮し、児童が良好な教育環境のなかで学習できる学校づくり」の丸の2に記載の内容に包含されているものと捉えさせていただきます。

次に、トイレに関しての話題がありました。トイレ環境の改善は必須項目であり、他自治体のよい実例を取り入れて、よりいいものを作ってほしいという御意見を頂きました。

また、現状の課題として、生活水準が上がってきている各家庭のトイレと、学校のトイレとでは、設備・機能面で大きな差が生まれてしまっていることが課題であるとの御意見も頂きました。

基本方針の本文に、トイレ環境の充実といった記載となると、全体のバランスの中で少し具体的な記述という印象となるので、2項目目の感染症対策の教訓を踏まえ新たな学校づくりの、丸の1「衛生環境に十分配慮した」という記載内容に包含されているものと捉えさせていただきます。

次に、これからの学校には、すべての子ども達にとっての居場所となる役割が高まっていて、既に、学校現場においては様々な取り組みがなされているという話がありました。

子ども達の居場所づくりという視点では、3項目目の「特別な支援が必要な児童・生徒一人一人の能力を最大限伸ばすため、適切な支援が行うことができる学校づくり」の中で、丸の1に「個に応じた「多様な学びの場」を確保する」、丸の3に「落ち着いて過ごすことができる空間」、丸の4に「自分たちの居場所と感じられるような」の記載内容に包含されているものと捉えさせていただきます。

続きまして、3ページをお願いします。基本方針の3「地域の生涯学習やまちづくりの核としての施設の整備」についてです。

ここでは、3項目目「避難所施設として防災機能・体制強化を図る学校づくり」で、避難所施設に関連したことが話題となりました。

まず、避難所施設としての位置づけについては、地域防災計画とも整合性を図ったうえで、施設の整備を進めてほしいとの御意見を頂きました。

計画行政を推進するため、市の最上位計画である調布市総合計画のほか、各分野においても様々な上位計画があり、それに紐づいた諸計画がありますので、当然、そういった計画とも整合を図っていることが前提条件としてありますので、特にこの点に関しては、基本方針の本文では触れておりません。そこは、既に前提条件として踏まえているということで御理解をいただきたいと思いません。

また、防災備蓄倉庫についての御意見を頂きました。防災備蓄倉庫が、既に2基設置されていて、防災訓練の際に、収納されている備蓄品を確認したいのだけれども、整理・整頓ができていなくて、すぐに確認ができないような現状となっていることが課題との御意見を頂きました。

これは、有事の際に、必要なものを直ぐに取り出せるように、平時から備えていくことが大切であるとの趣旨での御意見ではないのかと捉えさせていただきましたので、この項目の丸の3に「また、防災備蓄倉庫は、平時における管理のしやすさにも配慮します。」という表現を追記させていただきました。

以上が、前回の検討委員会での御意見を踏まえ、修正させていただいた内容となります。

また、アンケート調査の集計結果の資料を事前に送付させていただきましたが、アンケート調査結果も踏まえ、改めて、御意見を頂きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

そして、本日、頂いた御意見を踏まえ、次回の検討委員会に最終版として提示、確認をお願いする予定です。

議題2についての説明は以上となります。

【阿部委員長】

ありがとうございました。議題の2調布市立染地小学校施設整備の基本構想、施設整備方針について事務局から説明が終わりました。

ただいま事務局から説明がありましたように、前回での議論を踏まえた修正案ということになっております。少し時間を割いて御意見等を伺いましたけれども、大きな修正が伴うようなところはあまりなかったのかなと言うところの中で、そういったところも踏まえながら、今回の修正や追記を行ったという説明でした。

それでは本日も前回と同様に、ページごとに御意見を頂ければなというふうに思っております。

まずは1ページ目の基本方針の1に関してです。ここでは、やはりハチの巣校舎がポイントになってくるのかなというふうに思っております。アンケート調査の自由記述では、このことに関連した記述が非常に多岐にわたって挙げられておりました。今の既存の校舎そのものを残した方がいいんじゃないかとか、また同じ形状で作り直すというような意見、少し形を変えてハチの巣の教室を残すというような意見などもあったかと思えます。その一方で、学校現場からは、現状の教室には課題があるとの御意見も頂きましたので、前回の議論の中では、通常の教室の形はごく一般的な四角形で作って、それとは別に六角形の部屋を作ったらどうかというような内容で考える方法としては、皆さん同じ方向だったかと記憶しております。まずはこれらの点に関しまして、改めて確認させていただきたいなというふうに思っているところです。そのうえで、今の染地小学校のイメージを残す、大切にするという視点から、この点に関して事務局としてこれまでの学校のイメージ印象を大切にしたい学校施設を整備しますという表現を加えたというところであります。

事務局案のとおり、この点についてのメッセージ性を取り入れた方がいいというふうに思いますので、具体的にハチの巣校舎というキーワードを入れるか、また何か別の表現等がございましたら、御意見などを頂ければというふうに思っております。よろしく願いいたします。

それではこの基本方針1について御意見のある方はよろしく願いいたします。

これまでの学校のイメージ、印象大切にしたい学校施設整備しますということで、そういう形で表現しているんですけど、ここに例えばハチの巣校舎とかなんか、実際に具体的なものを入れるっていうこともあっていいのかなと思います。何か御意見等ありますか。

【山澤委員】

どんなデザインとかアイデアが出てくるのかなっていうのを少し期待しているんですけども、考えようによって本当にいっぱい膨らむものだと思っていて、アンケートにもあったように、ハチの巣校舎とうたっている所はあるけれども、改築でハチの巣じゃなくてもこうしたんだっていうアピールって何があるんだろう。勝手に色々想像していたんですけど、でも、やりようはいくらでもあるのかな。勝手なイメージなんですけど、ステンドグラスとかでハチの巣が正面玄関にあったりとか、建物自体が大きい六角形とか。なにかしら取入れていただく方法っていうのは、きっとすごい人なら思いつくんじゃないかなっていうのは思いました。

新しくハチミツタイムとか、色んなハチにちなんだ名前、今もどんどん新しいものを作っちゃったりしているので、やっぱりハチの巣とかハチっていう部分は残して欲しいと思います。

【阿部委員長】

ありがとうございました。ほかに何か御意見等ございますか。

1ページ目はよろしいでしょうか。前回の御意見を参考に、踏まえて今回追記させていただいたという内容ですので、さほど大きくは変わっていませんけれども、一応皆さんから特段御意見等がなければ次に進めさせていただきたいと思えます。

(特になし)

また何かあれば途中でも構いませんので、御意見を頂ければと思います。

続いて2ページ目の基本方針についてです。これに関しても様々な御意見を頂きましたけれども、事務局としては原案に、これに関しては全て包括されていると言う解釈をさせていただきまして、特段大きな修正等はありませんということでしたけれども、多少、基本方針の2、子ども達の居場所と言うようなキーワードは入れておりますが、方針の方にあります丸数字で書いていることについては、そのとおりとなっているところです。ここについて何か皆様方から御意見等がございましたらお願いしたいと思えます。

【八木橋委員】

子ども達の居場所っていうことで、これは教室をイメージしているのかなと思ったんですけど、その解釈で合っていますか。

【事務局】

今は教室だけでなく、廊下等の共用部も含めて、学校内全体の中のそういう場所ということで考えていきたいと思っています。

少し話がそれますが、今現在考えている若葉・四中についても、そういった視点で教室だけではなく、廊下等の共用部分でも友達が休み時間とかで過ごしてもらえる設えで考えています。以上です。

【八木橋委員】

わかりました。ありがとうございます。

【阿部委員長】

その他何かございますか。よろしいですか。

(特になし)

それでは次のページに進みたいと思います。3ページ目。こちらがこの資料の最後になります。基本方針3についてです。

ここでは防災備蓄倉庫に関しての記述を追記したという説明がございました。日頃からの備えという点に意を用いて、また、防災備蓄倉庫は平時における管理のしやすさにも配慮しますという表現を加えさせていただいたというのが説明でございました。これにつきまして、何かございますか。

眞野委員お願いします。

【眞野委員】

3ページでなくて、1ページに戻っていただいて。すみません。申し訳ないんですけど、先ほどの施設整備に関する基本方針の1、施設整備方針としてアンケートにありますように、ハチの巣校舎というのが、すごくいっぱいアンケートにもあったということで、この一番のところの新しい施設の特色を活かした学校づくりのところ、4番に新しくわざわざ入れていただいて、これまでの学校のイメージ、ハチの巣校舎っていうことを総括するっていうようなお話を頂いているんですが、やっぱりこれパッと見た時に、この右側のページはないわけですね。そして、左側の方のページの丸1から丸4しかないってことになる、これまでの学校のイメージっていうところで、皆さんに理解してもらえるかどうかっていうことを、私としては、あえて学校のイメージの次に、括弧書きでハチの巣校舎という言葉をちょっと出していただいた方がやっぱりアンケートに答えた人たちもハチの巣校舎のことも整備方針として考えてくれ

ているのかなっていうことをイメージできるのかなと思うので、学校のイメージ、これまでの学校のイメージの次に括弧書きでハチの巣校舎を入れていただいた方が、整備方針の中にハチの巣ってという言葉を入れていただきたいなというふうに思います。すみません。あとになっちゃって。

【阿部委員長】

ありがとうございます。そうですね。今、眞野委員が言われたみたいに、アンケートを見ると、ハチの巣校舎に対する思いっていうのはかなり伝わってくる部分がございますので、これまでの学校のイメージ・印象というところの後に、少し分かりやすい表現をした方がいいんじゃないかなという眞野委員からの御意見でした。その点の事務局はなんかございますか。大丈夫ですか。

【事務局】

今この場でいい考えが浮かばないのですが、その点については反映をさせてもらって、六角形の教室や、校舎の形というものがイメージするような具体的なキーワードを入れながら最終案とさせていただきたいと思います。一旦、この点については事務局で預らせていただきます。以上です。

【阿部委員長】

ありがとうございます。ぜひ今の委員の意見を踏まえて若干修正が入ればなと思います。よろしくおねがいします。

それでは今はこちらの資料3について、その他全体を通して何か御意見ございませんでしょうか。

久保田委員お願いします。

【久保田委員】

一番上の地域コミュニティの拠点となる学校づくりってところで、右側の地域の人たちと連携・協働している活動、交流の拠点の場っていうふうに書かれているんですけども、アンケート見ると、防犯・安全のために外部の人を入れるべきではないっていう御意見もすごく多かつたし、やっぱり地域の中の学校なので、地域の人が気軽に来られるような、そういう学校にしてもらいたいっていう、結構相反する意見があったなと思って、そこのバランスを、例えば四中のほうはどういうふうに、何かありますか。調整というか。

【事務局】

現在進めている、若葉・四中では、学校施設のほかに、図書館の若葉分館を

入れる関係で、例えばその若葉分館の玄関の前に空地、広場のような設えを設けている状況で、昼間とかに気軽に散歩して、イメージとしてはちょっとした公園のような、休憩ができるような空間を作っている状況です。そういったところは若葉・四中は入っているという状況です。あとは校舎内については、開放なんかも視野に入れている状況なので、そういったところで地域の皆さんに使っていただきやすい設えで考えている状況です。

今回、染地小学校のほうについては、一旦、学校以外の施設を入れるということではないので、なかなか具体的にどういう設えにするかっていうところはこれからの話になってしまうんですけども、ただ、ひとつはふれあい給食の部分もありますので、そういったところのスペースなんかも、より市民の方に使いやすいようなイメージで、これから具体的な検討していくのかなというふうなイメージは思っているところです。以上です。

【久保田委員】

わかりました。そしたらこの文言についてはあっていることですよ。あっているとは思っているんですけど。そういうつもりでいってことではないですよ。

【河本副委員長】

公共施設マネジメント担当の河本です。前回もちょっとお話させていただいたんですが、小学校とかで、多分これから児童が減っていくといろんな機能を包含していく可能性がある中で、児童の安全を守るセキュリティと、開放性をどう担保していくかという話があると。セキュリティラインをどこで引くかという話で、一般的には学校しか使わないなら学校のみで一切入らせないよと言いつつ、やっぱり相反する部分がある。そのへん例えば、ハード的にどこで区分するかで、例えば時間帯でも子どもがいない時間帯があれば、ここまでは入れてもいいんじゃない、スペース、場所だけじゃなくて時間的な部分ですとか、その辺は実施設計とかをやっている中で、ハード面だけでなく、運営のソフト面も含めて、学校がこういうふうに対応してくれるのであれば、ここまで時間帯によってセキュリティラインをずらせるんだけど、という提案なども恐らく事業者側からあると思いますので、そういうのも含めて、将来的な視野も含めて、色々開放とか対応できるようにしていけばいいのかなと思っております。この場でどうだっという話じゃなくて、これから先の検討事項の一つとして、考えていければなと思っております。

【久保田委員】

結構、保護者とか教職員の方が、やっぱり外部・防犯をすごく重く捉えられていて、私たち地域側から見ると、やっぱり地域もすごく学校に貢献していると思いますか、色々関わっている部分をお互いが分かっていない状況の御意見もいっぱいあるのかなと思ったので、ただそれを実際に建てた時に重視して、こういう理由できちんと安全を考えながら、ちゃんと開放もされているんだっていうことが、今後ちょっと気を付けていきたいなと思いました。

【阿部委員長】

御意見ありがとうございます。ほかに御質問等ございますか。
矢筈原委員お願いします。

【矢筈原】

参考までに教えていただきたいんですけど、防災備蓄倉庫って若葉・四中だとどういう配置になっているんですか。染地だと、今はコンテナ置いていて、コンテナ2基が違う場所にあるんですけど、一か所にまとまっているとか、建物の中に入っているとか、そういうことを教えていただけたらと思います。

【事務局】

若葉・四中で考えているのは、校舎内に設置をします。そして、なるべく体育館に隣接する形、物の移動だったりっていうのを考えて、基本的には体育館の直近に配置した計画にしております。

それと合わせて、物資の搬入とかもありますことから、その辺の動線も含めた形での計画の作ったという状況です。以上です。

【矢筈原委員】

ありがとうございます。

【阿部委員長】

ありがとうございます。その他。事務局どうぞ。

【事務局】

この後の話になるんですが、議題の中に平面プランも入っていますので、そこには防災備蓄倉庫の位置づけも書いてありまして、後ほどそこについては、御確認いただければと思います。以上です。

【阿部委員長】

そのほか何かございますか。山澤委員お願いします。

【山澤委員】

この間、眞野委員が地域の周辺のまちづくりの進捗を教えてください、地域の人たちの連携・協働していくってところが、やっぱりどうしてもわからないとどこまで学校の機能が必要なのかとか、イメージができなくて。アンケート読んでいた時に、前は染地小の音楽室でコーラスをしていたけれども、今は外で活動しているんですみたいなのがあって、結局外に活動する場所があるのかなのかで学校に求められる機能も違うので、この学校周辺のその街づくりは前回の会議から今日までの間、何かこう見えてきたものとかはあるんでしょうか。複合施設が近くにできるとか、そういうのはまだわからない状況でしょうか。

【阿部委員長】

東海林委員。

【東海林委員】

まちづくり推進課地区まちづくり担当課長の東海林です。山澤委員から前回御説明させていただいた内容から、この間で動きがあったかっていう話なんですけど、アンケートにもちょっと出てきましたが、言葉として、染地小の南側に地区計画上、住宅福祉複合地区という、平成29年に地区計画を作った際に、住宅と福祉機能を誘導していく地区と、どういう機能誘導するかというのを地域のまちづくり評議会の皆さん、多摩川住宅に住まれている方々と議論をしていきたいと思いますということで位置づけも変わってないという状況です。

具体的な機能を誘導して行く検討状況としては、この場所については東京都住宅供給公社さん、JKKさんが土地を持っている場所になりますので、今、我々の部署、私どもの方でJKKさんとは定期的に協議をしているんですが、少しこの場ではなかなか申しあげられない部分があって恐縮なのですが、もう少し皆さんに御意見を頂くまでには、もうちょっとお時間頂かなきゃいけないかなと思っています。

染地小の建替えが迫っているという中では、その議論と検討とを同時にですね、その場所の在り方というのは検討していかなくちゃいけないと思っていますので、そこについてはこの検討会の中で詳細を話しすることができないんですが、地域の皆さんには、検討できる状況になった時点で、何かしらの形でお知らせをして、御意見を吸い上げる形を取っていきたいと思いますのでもう少し

お待ちいただければと思います。以上です。

【山澤委員】

ありがとうございます。そうすると、この会議と地域を繋いでいるのが東海林委員であり、眞野委員ってということなのかなと思いました。ありがとうございました。

【阿部委員長】

はい、ありがとうございます。それでは、この案件についてはよろしいでしょうかね。

それでは本日の議論を踏まえまして、次回に最終案として、基本構想としてまとめさせていただき、御確認いただきたいというふうに思っておりますので、よろしく願いいたします。

また、後日、何かお気付きの点等がございましたら、事務局までお伝えいただければと思います。議題の2につきましてはここまでといたします。

それでは本日のメイン、冒頭でちょっとお話させていただきましたけれども、議題の3、校舎配置計画及び内部ゾーニング案について事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

それでは、事務局より、校舎配置計画及び内部ゾーニング案について御説明します。資料4-1 校舎配置計画比較検討案を御覧ください。

あわせて、只今から、前回お示しさせていただきました、階層毎に各諸室を配置した、こちらの校舎内部ゾーニング案を追加で配布いたします。

資料4-1は、第2回の検討委員会でお示しさせていただいているものですが、今回は、只今配布させていただきました、校舎内部ゾーニング案を校舎の配置計画案であるA、B、C案それぞれに落とし込んだものを御用意いたしました。そちらが、資料4-2、A、B、Cの3枚となります。

基本的には、前回御説明した内容をベースに、各諸室を配置しておりますが、各案、建物形状が異なることから多少の違いはありますので御留意ください。

各案の概要を御説明させていただく前に、資料4-1について前回から変更点が3点ありますので御報告いたします。

1点目、上段、新校舎とグラウンドの配置を示す図の下に、各案における建設工事までのステップのメモを追加しました。

2点目、黄色の網掛けをしている、下段、各案の特徴の欄、中央、整備後のグラウンドの特徴を比較している欄ですが、当初は「グラウンドのゆとり」と

しておりましたが「グラウンドの使い勝手」に修正しました。あわせて、各案の評価も修正しております。

A案については、トラックのカーブの部分が他の案に比べ、最も緩やかとなることから評価を三角から丸にしております。

B案については、グラウンドの形状が扁平となることから、トラックのカーブが急になってしまうため、丸から三角にしております。

C案については、B案と同様にトラックのカーブが急であることにあわせて、冬季の日影の影響によりグラウンドのコンディションが悪くなることが予測されるため、三角からバツにしています。

3点目、最下段に事業費の欄を追加しています。こちらは、事業費としての増加要因を明示しております。

A案は既存のハチの巣校舎を解体後、新校舎の建設に入りますので、一部の仮設校舎の建設費及び引越し費用、工期が長くなることにより三角判定となっております。

B案については、現校舎位置に新校舎を建設することから、全機能の移転ができる大規模な仮設校舎の建設及び引越し費用が必要となるとともに、工期が最長となるためバツ判定です。

C案については、A、B案で増要因となるものがないため丸判定です。

以上が修正及び追加した内容となります。

それでは、本題の各案の校舎内部ゾーニング案を御説明いたします。各案については、先ほど追加で配布させていただきました校舎内部ゾーニング案と見比べながら見ていただければと思います。

まず、資料4-2-Aを御覧ください。

こちらは、校舎を学校敷地の西側に配置したA案となりますが、最初に共通事項を説明します。

まず、灰色に着色した無地の部屋はトイレや給食用の配膳室、教材室などの供用部分を表しています。

次に、1階の左上、左下、右上にカタカナの「エ」を四角で囲んだようなものがありますが、そちらは階段を表しております。

次に、1階の右下に赤の三角形がありますが、こちらは昇降口で、児童の建物の出入箇所を示しています。

最後に、各案ともに図面の上方が北側としています。

共通事項の説明は以上です。

A案について説明します。A案は、建物を西側に寄せていることもあり、建物形状を正方形に近い平面形状としています。そのため、建物中央部に中庭を配置し、中庭上部を吹き抜けとすることで、通風や採光を確保する案となって

います。1階部分には、管理諸室をメインに、給食室、学童クラブなどのほか、プールを配置しております。2階については、前回、八木橋委員から御指摘いただいたとおり、児童が通常いる教室などは2階以上に配置し、こちらは各案共通事項としております。2階は、特別の支援が必要な教室群を配置するとともに、ふれあい給食を配置し、普通教室も配置しております。3階から4階にかけては、普通教室や特別教室をメインに配置し、3階に避難所となる体育館をプールの真上に配置し、体育館の近傍には防災備蓄倉庫や炊き出し利用を見据えた家庭科室、行事で使用する楽器類の運搬がスムーズにできるような音楽室を配置しています。また、アンケートなどでも御意見を頂いており、先ほど山澤委員からも御意見を頂きましたハチの巣校舎の継承として、右下に六角形の諸室を配置しております。この六角形の教室の配置やこれに代わるなんらかの配置については、あくまでも現時点での案ですので、今後計画を進めていく中で使い勝手を十分に考慮しながら、今後検討してまいります。以上がA案となります。

次に、B案です、資料4-2-Bを御覧ください。

B案については、建物を学校敷地の北側に寄せて配置していますので、建物形状は横に細長い形状としています。こちらにも細長い形状ではありますが、中央に光庭を配置し、上部を吹き抜けとすることで、採光を確保することとしています。1階にはA案と同様に、管理諸室をメインに、給食室、学童クラブなどのほか、プールを配置しております。2階につきましても、特別の支援が必要な教室群を配置するとともに、普通教室や特別教室を配置し、ふれあい給食も配置しています。

B案については、2階及び3階に六角形のハチの巣教室を設け、3階及び4階には普通教室及び特別教室をメインに配置しています。3階にはプールの真上に体育館を配置し、防災備蓄倉庫、家庭科室、音楽室を近傍に配置しています。以上が、B案の説明となります。

最後に、C案です。資料4-2-Cを御覧ください。

C案については、建物を南側に寄せていますので、B案と似たような形状となっていますが、新校舎の右側、東側に既存体育館を残したまま、新校舎を建設することとしていますので、東西方向がB案より短くなる代わりに、南北方向に若干ではありますが、伸びている形状となっています。

C案はB案に建物形状が似ていますので、B案と同様に、校舎中央に光庭を配置しています。1階には他の案と同様に、管理諸室をメインに、給食室、学童クラブなどのほか、プールを配置し、2階にも、特別の支援が必要な教室群を配置するとともに、普通教室や特別教室を配置し、ふれあい給食も配置しています。3階及び4階には、普通教室及び特別教室をメインに配置し、3階に

はプールの真上に体育館を配置し、防災備蓄倉庫、家庭科室、音楽室を近傍に配置しています。4階には特別教室のみとなり、C案では4階のみハチの巣教室を配置しています。以上がC案の説明となります。

冒頭で御説明したとおり、建物形状によって多少の違いはありますが、前回の内部ゾーニング案を基に、事務局が考える各案の内部プランを御提示させていただきました。各案について、御質問や御意見を頂き、その後、建物配置と内部プランを総合的に御検討いただき、各案の順位を皆様に決めていただきたいと思います。よろしく願いいたします。説明は以上となります。

【阿部委員長】

ありがとうございました。議題の3、校舎配置計画及び内部ゾーニング案について事務局から説明がありました。

まず、第2回検討委員会でお示しした校舎の配置計画3案に対して、メリット・デメリットの比較を表示したものが今お手元にあります資料4の1の校舎配置計画比較検討案となっています。

そして各案それぞれの校舎について、前回、第3回の検討委員会で議論いただきました各諸室のゾーニングの考え方を踏まえ、校舎内に各諸室を配置したイメージ図がこの資料4の2となっています。本日はこの2つの資料を基に、A、B、Cの3案の順位付けをしていくのが今回の大きな議題のテーマとなっておりますので、よろしく願いいたします。

まず始めに、私から少し、今の事務局の説明を踏まえて意見を言わせていただきます。B案というのは敷地の北側に校舎を配置して南側にグラウンドを配置すると。学校の配置計画のオーソドックスなパターンで、ごく一般的な形ですけれども、ある意味、理想形だというふうに思っております。ただこの形を作る過程がですね、非常に大変であると言うところがあります。既存の校舎と同じ位置に建直すということは、どこかに仮の教室を用意してそこに引っ越してから新校舎を建設し、完成した後にまた引っ越ししなければならないということで、学校現場においても大変な苦勞をかけることとなります。

そして仮教室を用意するということは、極端な言い方をすると、既存校舎と同じ大きさの仮校舎を一旦造らないといけないため、この費用がとても高くつくということになってしまいます。これ学校現場と行政の双方のデメリットが非常に大きいなというふうに感じたところでもあります。

A案とC案を比較した場合は、どちらも甲乙つけがたいなというふうに思っております。それぞれメリット・デメリットについて、意見交換を行ったうえで、最終的に順位付けを決める流れで進めていければなというふうに思っているところでもあります。

それでは委員の皆様にご意見を伺っていきたく思いますけれども、いかがでしょうか。どなたか御意見等ある方よろしくお願ひいたします。

眞野委員お願ひします。

【眞野委員】

A案かC案かそれについて後で話しますが、その前に、前回もちょっと話したんですが、各案とも防災備蓄倉庫、これが3階にあるんだよね。前にもちょっと話したんですが、この調布市全体の、今もね、災害があちこちで、いつ災害が起こるか分からない、こういった状況の中で、調布市として災害が起こったときの避難施設をどうするかという全体計画がどうなっているんだと言うことで、前回もちょっとお話ししましたが、それに基づいて、せつかくつくる新しい施設ですから、そういった市の全体の防災計画に即した施設をとるか、そういうのを考えるべきだと思うんです。この今のプランでいくと、なんか学校の防災備蓄をちょこっと置いてくだけっていうようなスペースに、面積的にも思えてならない。だから地域の防災というものと、学校との関わりをどういうふうに考えているのか。私は今地区協議会の者として来ていますが、地区協議会としても防災について色々やっていますけども、そういう点からこの染地小が地域の防災の中でどういう役割で、そのためにはどういった施設が必要なのかということ、もう一度、教育委員会とそれから防災課の方でよく打ち合わせしていただいて、全体の市の防災計画にのっとった形で今回の施設を考えるべきです。この面積的な問題で言えば、この校舎の中に入れられないうんだったら、今こそですが、外に防災倉庫を、先ほども言いましたけどコンテナが2つあるんだけど、ああいったものでいくのか。3階っていうと、地域の人やわざわざ、避難してきた人たちが3階まで上がって降ろしたり、そういうことにするのか、そういった避難の状況をどう考えるか。この間も調布市でいろんな災害があった時には避難所を設営しましたが、大変混乱したんです。あんな状態でこの災害が来たらもうどうしようもないよね。調布市の防災対策。そういうのも、もうちょっと教育委員会の方としても防災の方とよく打ち合わせして、今後、この防災倉庫っていうのはどういうふうに考えるのか、ぜひ考え方も含めて打ち合わせしていただいた話を聞かせてほしい。こんなところに持って行って何考えてんのっていうふうに思いますけどね。以上です。

【阿部委員長】

ありがとうございます。その辺何か事務局からありますか。

【事務局】

防災備蓄倉庫の場所については、こういった御意見を頂きましたので、その点については、しっかり関連部署であるって総合防災安全課とも調整を図ったうえで具体的な計画に位置付けていきたいというふうに考えています。以上です。

【阿部委員長】

それでは、ほかに委員の方から意見を伺っていきたいと思います。

先ほど冒頭で私の方から話しました。今回、A案、B案、C案のどれにするかという順位付けが本日の肝となっていますので、ぜひきたんのない意見を頂ければと思っていますところでは。

星委員お願いします。

【星委員】

C案についてなんですけれども、近隣への影響で日陰、確かに日陰だけ取ればC案は二重丸かもしれないんですが、心配されるのが学校で非常に音が出ます、音楽も出します。あとは砂埃とか。目の前に高いマンション建っていますよね。なので、決して日陰だけ言えば二重丸かもしれないけれども、日陰や日向だけじゃないんだよっていうところでは、その辺どうでしょうか。砂とかその辺。他校の例とか、ちょっとお聞かせいただきたいと思います。

【事務局】

今、砂埃に関して、既存の学校で進めているものはグリーンダストと言って緑色の岩を細かく砕いたものを土状にしたもので整備をされていて、それが砂埃対策については有効に機能している状況にありますので、今のグラウンドの舗装の仕様としては、そういった形で考えています。

ここの予算の中では、理想としては全天候対応型が学校現場としてあるのかなと思うんですけど、その辺は予算との兼ね合いもありますので、かなり難しい部分もあるかなというふうに思っています。

現状やっているグリーンダスト舗装だと、砂埃に対しても、近隣から苦情が収まったっていう実績もありますので、そういった仕様で考えている状況です。

【星委員】

ありがとうございます。やはり現場としては、なるべく近隣の皆様に迷惑かけないようにと思って運動会の練習なども今やっているところですけど、今はちょうど、恵まれた環境の中でやらせていただいているんですけど、音とか目の

前のマンションさんに迷惑かけないかなってというのが気になるところです。

そうすると、目の前の北側のマンションが非常に高いので、校庭がいつも丸見えというか、それもちょっと気になるところかなと思います。以上です。

【阿部委員長】

ありがとうございます。その他、どなたか御意見等ございますか。

眞野委員お願いします。

【眞野委員】

A, B, C案の中からということであれば、一応私はAがいいと思います。なぜかという、Bは先ほど阿部委員長がおっしゃったように、既存校舎と同じ位置ってことになる、やっぱり仮設・移転、それから引越し等々、色々大変なことで、C案とA案かということになると、C案はグラウンドが日陰になっちゃうんですよね。校舎4階建てでしょ。20メートル近い。そうすると冬になればベチャベチャになっちゃって、水浸しになっちゃうような状態。こういう日陰の状態をグラウンドに持ってくるのっていうのはあまり良くないかなと。そういうことからすると、やっぱりA案しかないのかなと。A, B, C案の中から選ぶとすればね。A案のしかないのかなというふうに思います。

【阿部委員長】

ありがとうございます。その他、何か。

【八木橋委員】

学校としての意見なんです、私もA案が良いのかなと思います。理由として、一つ目はグラウンド。C案だとグラウンドが日陰になって、今でもちょっとぬかるみがある時があるので、グラウンドはA案の方が問題なく使えるかなと思います。

また、今Bの形でグラウンドがあるんですけども、トラックのカーブがとれない状況にあります。なんかちょっと急なんですよね。急なところのカーブでトラックを取っている、A案にするともっとカーブが緩やかなトラックが取れるかなと思っています。

あとは、芝生は計画の中にあるので、芝生もぜひこの中に入れていただいて、雨のときは芝生で遊べる、子ども達の環境を作っていきたいかなと思っています。よろしくお願いします。

【阿部委員長】

ありがとうございます。それでは市川委員お願いします。

【市川委員】

グラウンドに関して。前提なんですけど、土ですか。ウェザーコートみたいな。それと、今あったように芝生との関連。その比率とかはもうお考えになってらっしゃるんですか。

【事務局】

今の市の財政状況を鑑みると、なかなか全天候型を採用するっていうのは非常に難しい判断かなというふうに思っています。

それからの芝生に関してなんですが、学校のホームページの中にも染地小の特徴ということで、雨上がりなんかは芝生の上はぬかるみがないので子ども達が活用できますよなんて、染地小の特色と言ったところに表記がされているので、やはり芝生の良さっていうのは非常にあるというふうに思っています。

しかし、芝生も植物なので、手入れに関しては今、非常に良い形で学校に管理をしていただいているんですけども、その部分は少なからず先生に負担になっているかなというふうに思っています。今の染地小学校は非常に少ない人数でありますので、今の在校生からすると芝生の傷みもない状況なので、比較的よく維持管理されているかなと思うんですけども、これから子ども達が増えるとなると、芝が耐えられないという状況もあります。そうなってくると養生期間と言って、種をまいて、芝が根付くまでが使えないといったデメリットも出てきます。そのため、実際の整備の中に芝を入れるかっていうところでは、その維持管理をどうするかっていうところがポイントで、実際に入れるかどうかっていう判断になろうかなと思っています。今の時点で、入れるか否かの判断はつかないんですけども、やはり最終的には維持管理をどうしていくかっていうところで判断になるかなというふうに思っています。以上です。

【市川委員】

ありがとうございます。

【阿部委員長】

それでは久保田委員お願いします。

【久保田委員】

全ての案について、体育館が3階で防災倉庫も3階にあるのは、浸水しちゃ

うってという御意見もあったので3階もありなのかなと思ったんですけども、体育館が3階だと、例えば開放の人とか、外部の方が休日とかも校舎の中に入って体育館に行くっていうことになるので、防犯的、時間帯とかをずらすって形になるのか、門扉のところでセキュリティを強化するのかっていうことになってくるのかなと思います。

A案だと、教室の中に、各階ごとの移動距離が割と短くなるので、子ども達も先生達も楽だろうなあっていうふうに思いました。しかし、ステップルームが4階にあるっていうの、ステップルームの考え方が私のイメージ的に、ちょっと教室に入れなかつたりする子ども、集団が苦手っぽいイメージ、そこ子達がまず第一歩としていけるところなので、その一歩の人が4階までいけるかな、っていうのがちょっと心配ではあります。以上です。

【事務局】

防災備蓄倉庫につきましては、体育館と同じフロアという形で3階配置しておりますが、実際、今回エレベーターがこの校舎に付く予定でございますので、物資の搬入自体はエレベーターを使いながら出来るかと考えております。

体育館のセキュリティに関しましては、今回、エレベーターを設置しますので、エレベーターを使用して上がっていただく、もしくは専用の階段を上がっていただく。一応左上の方に階段もございますので、それを使用していただくということになろうかと思いますが、実際ほかの行政の事例で言いますと、シャッターとかでほかの教室の方に行けないという形で、物理的に封鎖してしまうというやり方もあったりしますので、そういったことも今後検討している形になろうかと思っております。

ステップルームにつきましては、建物の配置の中で、ちょっとここに入ってしまった状況ではありますが、エレベーターとかもありますので、エレベーターからすぐ入れる部屋っていう形でもいけるのかなと考えております。ステップルームの配置につきましても、今後検討させていただければなと思っております。以上です。

補足説明させていただきますと、今回の案として出しました校舎の中の形なんですけども、これが最初で、これからこの事業に関わっていく設計者の考え方によって、建物の形状だったりというのはガラッと変わってくるような状況になります。あくまでも今の時点ではザクッと考えた必要な面積、造るものに収まるかどうかという形で作った案なので、これがこのとおりに進むかどうかというのはまだ未確定な状況です。あくまでもこれをベースに、次のステップで関わっている設計者がいろんなことを考えて最終的に決める状況になりますので、この図面ありきではないということを御承知おきください。そのうえ

でこういった意見を反映しながら変わっていき、最終的な設計が決まりますので確定ではないということです。

【阿部委員長】

ありがとうございました。きたんのない意見をどんどん頂いて、それを設計に反映されていくということですのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは行政と学校現場との忠実な立場と言うところからですね。小林委員から御意見頂ければと思ひます。

【小林委員】

皆さん、こんにちは。会議になかなか参加できず申し訳ございません。

行政と学校の中立という話がありましたけれども、私自身は小学校の教員からスタートして、昨年度までは小学校の校長してました。また行政にも、他自治体ではありますが長く居ましたので、はっきり申し上げてもA案B案C案全ての校舎で、実際に授業を行ったことがあると言う立場から、このABCについて述べさせていただければなと思ひております。

まず申し上げますと、先ほど日陰の問題が出てきましたけれども、実際、日本の校舎はB案が多分最も多いんだと思うんですけど、お隣の府中市なんかは、C案の校舎も結構あるんですね。最近その様子が変わってきたのは、B案の校舎は日陰がないっていう事が逆にデメリットになっていて、外で体育を行うだけじゃなくて、理科の実験を行ったり、観察行ったりする中で、最近はなかなか外に出られないと。日陰もないととにかく校庭の温度が上がってしまって、活動できないということもあって、日陰を探すのに苦勞すると言うところですよ。

C案については、施設整備方針について、芝ということもありましたが、芝の養生はなかなか難しくて、私もオール天然芝の自治体に居ましたけれども、南側校舎だと北側はほとんど根付かないと言うか、なかなか難しくて、ずっと芝が生えてない状態が続くということもあります。

A案についての校舎も、もちろん立地からするとグラウンドの日向が多くなるんですが、日陰が必要になってくる午後の時間帯が、いわゆる日陰が増えてくるんですね。体育しているときは、この校舎側に子どもを集めてなんてこともやっていたので、意外とこの西側校舎というのは、そういった意味での利便性は高いかなと思ひています。

また、行政長くいたので、いずれにして校舎の建替えの場面というのは、何回か立合っているんですが、地域の方々の熱い思い、アンケートにも色々表れていますけれども、そういったところと学校の教職員の皆さんの、こういう授業をここで行ないたいっていう熱い思い、それに加えて財政状況っていう行政

側の思惑っていうところもあって、この辺りのどこでこう妥協していくのかというところが必要になってくるかなと思っています。

そういった意味で、先ほども事務局のほうから説明がありましたけれども、整備方針に何を大事にして載せるかどうかで、今後その提案を受けていくなかで、ここにまとまっていることがどこまで叶えられるかが一番大事なのかなと思います。

結論申し上げますとA案がやはり一番いいかなと思うんですけど、私も建築に関してはすごく素人なものですから、実際にはその現在の校舎があった中で、基本的には新校舎を建てるスペースを確保していくというところで、この辺りのスムーズにできるのかなということや、一度仮校舎を建てなきゃいけないという負担がB案に比べたら負担が少ないということなんですけれども、そのあたりが財政的な負担という意味では大丈夫なのかな、ってところは正直不安なところがあるかと思うんですけども、ただ、今回提案されている案についてはA案がベストであると考えております。

【阿部委員長】

ありがとうございます。

【河本副委員長】

すみません、今、財政的な話が出たので、行政経営部という財政課も同じ職場にいる部署の私の方から少し。

今、話題に出ましたが、建設コスト、工事費関係がここ数年、異常な上昇をしており、皆さんも新聞記事とかで御覧になられている方もいるかもしれませんが、ここ数年、毎年20パーセントずつ上がっているよう状況で歯止めが効かない状況となっています。資材価格はやっと今年度入って落ち着いてきたんですが、これまで資材価格に追いついてなかったんですね、上昇幅が。

それに対して資材価格が追いついたものの、まだまだ工事費そのもの額としては今までと同じペースで上がっちゃっているような状況です。これはいろんな要因があって、建設業界に若い子が入らないだとか、万博の関係で人をとられちゃっているとか、国の政策で半導体を作らなきゃいけないとか。色々な要因が重なった結果が、今こういう状況になっているかなと思っています。しかし、単純にA案、B案、C案をコストで比較して、例えばC案が一番安いからC案だというのはちょっと乱暴かなと思っています。仮設校舎に関しましては、実際、行政経営部としては後に残らない、形が何も残らない部分なので、できればその費用がかからないのが理想かなというのが、正直なところの本音だと思います。もちろん、だからと言ってC案だというわけではないのです

が、A案で進めていく中で、実際にレイアウトをしてみたり、いろんなメリット・デメリット、仮設校舎がどのぐらいの規模かというのも踏まえたうえで、総合的に判断していき、場合によってはC案という選択も可能性としてはあるのかなと思っています。

芝生に関して言いますと、例えば調布の場合、第二小学校が全面芝生していて、実は校舎と校庭の間に少しアスファルトの部分があるんですね。実際それを見ると、校庭の南側ぎりぎり一杯のところは枯れているかということ、体育館と校舎の複合で影が落ちる部分はやっぱり駄目です。そこはどうしても根付かないかなと思っています。その部分を除くと、ここ最近見てないですが、自分が営繕にいたころなんかはそこまでひどい状況じゃなかったかなと考えています。なので、その辺はテクニックとか設計の中で校舎ギリギリまで芝生にしまうと、やはりだめな部分が出るかなと思いますが、今言ったとおりアスファルトか何かで、ぐちゃぐちゃにならないで歩けるようなゾーンを少し残してみることによって、そういう部分を作らないようにするとか、そういう設計上の対応なんかもいけるかなと思っています。

何にせよ、自分もこの中ではA案がいいなみたいな思いがあるんですが、ちょっと財政フレームに収めてみて、実際にどのぐらい財政フレーム上、市が耐えられるのかどうなのかというのを複合的に勘案しながら、場合によってはC案を学校側と調整させていただくような場面というのが、今後出てくるのかなと思っています。

【阿部委員長】

ありがとうございます。その他何か今回のA、B、Cについて。眞野委員お願いします。

【眞野委員】

度々すみません。2点ほど、今後、設計していくうえで考えてほしいなあといい点ですね。

一つ、私はA案と言ったのですが、A案でぜひ進めるとすれば、朝日マンションさんが北側にあるんですね。その配慮っていうものを少し考えないと。日陰ですね。日影とかにしようとか、その辺で近隣のこともちゃんと考えて設計していますよっていうことをぜひ考慮すべきだと思います。そういうのも、現在は3階ですが、これが4階建てに上がるってことですから、今よりも高くなっていくということで、それは近隣の人達は、えっ、となる所があるので、その辺は4階の部分、ステップステップルーム、これを斜めにカットしちゃうとか。ちょっと面積が減っちゃうかもしれませんが。そういうことで、近隣への

日陰とかを配慮して、景観とかその辺も配慮して設計していますよってということが必要なというふうの一つ思います。

それからもう一つは、A案で言うと、真ん中に中庭があるんですね。これ非常にいいなと思うんですね。今のこの図面で見ると、これは屋根がないんですね。屋根が無いから雨が入って来ちゃうってことですよね。できれば、屋根をかけて光だけ取り入れて、雨が入らないような。建ぺい率や容積率、色々問題は出てくると思うんですけど、雨が入らない形で、中庭をうまくすると、校庭の使い方とうまくできるような形にもなるし、もし雨が入るとすれば、ここを人工芝等で考えると。要するに、この広い空間をうまく使って、緑も入れながら、環境にも配慮した形での中庭づくりっていうのをぜひ考えてほしいなあとというふうに思います。以上です。

【阿部委員長】

ありがとうございます。御意見頂きましたので、そこを踏まえながら今後検討していただければと思います。

ほかに何か御意見等ございますか。菊地委員お願いします。

【菊地委員】

児童青少年課の菊地です。今、市では子ども基本法の理念に従って、いろんなことに子どもの意見を大事にしていこうと言うことで動いております。色々意見があった中で、子どものアンケートを見ると、屋上広場っていう要望が非常に高いのかな、どの学年でも多いのかなっていうふうに思っているんですけども、設計これからですという話もありましたけれども、ぜひ子ども達がそれを望んでいるのであれば、ただちょっと安全管理上の話であったりとか、コストの話であるとか、いろんなものが絡んでくると思うんですけども、今後そういったものも、ぜひ、子どもの意見を大事に取り入れていただきたいなというふうに思っております。以上です。

【阿部委員長】

ありがとうございます。子どもの意見をしっかりと取り入れていきながら進めていければというふうに思っていますので、事務局よろしく願いいたします。

それでは、ほかにどなたか御意見等ございますか。大丈夫ですか。

それでは、山澤委員。

【山澤委員】

最初の話の中にあったホールは、どの案でもやっぱ難しいのかなっていうのと、でも、先ほどの眞野委員の話を知ると、中庭がホールになるのかなと思ったりとか。

あとは、ちょっと疑問なんですけど、昇降口は一か所でいいのかなっていうのが。自分の中で一箇所で大丈夫なのかなっていうのがすごくあって、今もうすでに教職員を入れて3カ所あって、子どもはやっぱり入口が多い方が入りやすいのかな。そうであったときに、一か所しか出入口がないっていうのは、行きにくくないのかなと思いました。

また、どの案も正門とかの門はどの辺になって、学校への動線がどうなるのかなって思いました。門から校舎が遠いと入りづらいとかないのかなとか、そういうのを考えてしまったので、その辺もあわせてあのイメージがつくといいなと思いました。

【事務局】

まずホールにつきましては、今の右下の黄色いハチの巣教室、仮にこういったところをホールという形で使ってもできるのかなと思いますが、こちらの方に関しましても、先ほど関口が申したとおり、今後、設計者とかの提案を受けた内容で、もっと内容がガラッと変わる場合もありますので、そういった中でも今回の検討委員会の議事録を残して、そちらを事業者の方に参考にしてもらいながら設計を進めていくこととなりますので、今の山澤委員の御意見も反映してもらえるものだと考えておりますので、御了承いただければと思います。

また、昇降口の箇所ですとか、門に関しても、今回は建物の配置する位置とか形だけの計画ですので、こちらの方も今後、昇降口の数や門の位置を検討していこうかなと考えておりますので、御了承いただければと思います。以上です。

【阿部委員長】

ありがとうございます。ぜひ、そのへんもしっかり考えていただいて、要望に沿った形で設計に進んでいただければというふうに思っています。

それでは様々な御意見を頂きましたけれども、最後に校長先生から何か一言頂ければと思うのですが、いかがでしょうか。

【八木橋委員】

まずは、今回このアンケートの各個人の意見を、このようにまとめていただいてありがとうございます。大変だったのではないのかなと思いました。あ

りがとうございました。

また、それをこの基本構想の中に赤字で入れていただいて、本当に皆さんの思いがここに入っているかなって思います。染地小学校は、本当に皆さんの思いが熱くて、重いので、その熱くて、重いものを形にするっていうことはとても大変なことだと思いますが、そこは皆さんで知恵を出し合って、染地小学校が新しくなってよかったなって、みんな安心できるなあっていうふうな学校にしていきたい、学校づくりをしていきたいかなと思います。本当にみなさんの活発な御意見が、校長としても嬉しいと思っております。ありがとうございます。

【阿部委員長】

ありがとうございました。それではこの議題について、そろそろ結論づけたいというふうに思っていますけど、今、皆さんの御意見等を伺って、それを踏まえて考えますと、A案、C案、B案というような順位のかなというふうに思いますけれども、皆さんいかがでしょうか。異論ないでしょうか。

(異議なし)

それでは、A案、C案、B案という順位で、この会では結論付けたいと思います。しかし、先ほどの河本副委員長からの発言でもありましたように、今後の検討状況によってはC案への計画の変更というのを想定しておく必要性はあるのかなと思います。資材等の高騰もかなり右肩上がりというところの中で、比較的、財政フレーム上おさまらないと言うような、そういったようなケースも出てくると思いますので、そういったところを踏まえてC案への計画変更の想定しておく必要性があるということで、御承知おきいただければと思っています。それでは、議題の3につきましてはここまでといたします。

続きまして最後の議題になります。議題の4、調布市立染地小学校施設整備基本構想（素案）について、事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

それでは、議題の4、調布市立染地小学校施設整備基本構想（素案）について説明をさせていただきます。

本日の検討委員会での議論の内容と、これまで議論していただいた内容を含め、最終的な成果物といたしまして「調布市立染地小学校施設整備基本構想」としてまとめていきたく考えています。本日は、その成果物の完成形のイメージとして、資料の5、調布市立染地小学校施設整備基本構想（素案）として提示

させていただきます。

それでは、資料5を御覧いただきまして、表紙を一枚おめくりいただきまして、表紙の裏面が目次となります。そして、1ページから8ページにかけて、現状の学校施設の現況等について記載する予定です。

1ページ目、1の基本構想策定の背景と目的から始まり、2ページを御覧いただき、2の現況としまして、現在の施設の概要や、児童・生徒数の推移など、現在の状況についての、一般的な事項をここに記載する予定です。

そして、9ページをお願いします。ここからが、今後進める事業の核となる項目となり、基本構想という位置づけになります。

10・11ページをお願いします。ここでは、すでに定められております、既定の事項を記載しています。

続いて、13ページから15ページにかけては、先ほど議論していただいた、議題2の内容について「整備方針」という位置づけで記載します。

本日の資料の方には、資料3と同じ内容を転記させていただいております。

16ページをお願いします。ここには、配置計画ゾーニング案として、先ほど議題の3の結果を踏まえたものを記載します。

そして、最後、18ページを御覧いただきまして、ここからは、資料編としまして、本日の議題1で報告しましたアンケート調査結果や、検討委員会の中で使用しました資料等を入れ込んでいく予定です。

このようなイメージで取りまとめを行い、最終版として、次回に基本構想案について御確認をいただく予定です。

議題5についての説明は以上となります。

【阿部委員長】

ありがとうございました。基本構想（素案）について事務局から説明がありました。

この間、皆様方からも御意見頂いて、色々な資料を示させていただきましたけども、それを最終的に取りまとめたのがこちら。ただ中身がまだ結構スカスカな状態でありますけれども、それをしっかりと、次回までにまとめ、提示させていただいて、それで決定させていただければと言うようなことでございます。

最終形に向けてはこれから追加されていく内容もありますけれども、まずはまとめ方の方法やざっと見ていただいたイメージについて、共通認識を持っていただいたうえで、全体の構成等について、何かこれってこういう風にしたほうがいいんじゃないのっていう御意見があれば、ここでお伺いしたいなというふうに思います。何か気づいた点等あれば御意見頂ければと思います。よろし

くお願いいたします。

事務局，この資料は，今日初めて皆さんに示した資料ですよ。

はい，眞野委員お願いします。

【眞野委員】

すみません，一つだけいいですかね。先ほど，山澤委員もおっしゃっていたんですけど，色んな意見があって，なぜ建替えなきゃいけないんだっていうところの視点に基づいて，どこかにこういう事なので，建替えを進めるんですよっていうことを述べておくといいかなと思います。今入っていないかなと思うので。

【事務局】

山澤委員からもありましたように，1ページの策定の背景のところ，その辺の内容を加味したうえで，次回提示させていただこうと思います。

【眞野委員】

どこかに，なぜ建替えが必要なんだということを，入れておくといいかなと思います。

【阿部委員長】

ありがとうございます。冒頭で山澤委員から話があった，なぜ建替えが必要なのか，そこが一番大事なところだと思いますので，そこはしっかりと中に組入れて，次回お示しできればと思います。

そのほかに，何か全体的に見ていただいて，何か気付いた点とかあれば御意見頂ければと思いますが，いかがでしょうか。

伊藤委員，お願いします。

【伊藤委員】

企画経営課長の伊藤と申します。今，基本構想の（素案）を見させていただいて，今日の議論の中でもあったかなと思うんですけども，おそらく13ページ以降がかなり肝となる内容かと思っています。資料3の右側には，いろんな補足があって，左側で言わんとしていることが，それを見れば分かると思いますから，先ほどのイメージとか，そのあたりについての意見だとは思いますが，それ以外のところ見ていただいて，方針の中で何を言わんとしているかが，見た人が，初めて見た人でも分かるような，必要に応じた言葉の補足等も改めてさらっていただくといいのかなと思うふうに思います。

やはり、こういった大きな取組みでありますので、多くの方々が同じ、共通認識と言いますか、それを持てるような内容にしておくことが、後々、より具体・詳細になっていった時に、方向が違ったよねってならないようにすることが大事だと思っておりますので、そのあたりを確認、検討いただければと思います。以上です。

【阿部委員長】

ありがとうございます。そうですね。この場で議論している皆さんの資料と、実際にこの中に落とし込んでいくものは、若干違いますし、この間の話し合いをしていく中では当たり前のようにわかっているけれども、多分初めて見る方がこれって何だろうと思われては、元も子もないところがありますから、そのあたりは分かりやすい表記の仕方、構成を、事務局へお願いしたいなと思っています。

その他何かございますか。大丈夫ですか。山澤委員どうぞ。

【山澤委員】

いつもこういう資料を見るときに、共創という言葉が使われるんですけども、地域や社会との共創とあるんですけど大きすぎちゃって、具体的なものが、染地小だからこそその共創っていうところがわからないんですね。なので、特にこの地域だからこそ、地域や社会ですと大きすぎちゃうので、例えば、今やっている街づくりのところとか、具体的な、染地小を中心としたイメージができるような、補足みたいなものがあるとうれしいなとは思っています。当たり前すぎちゃうかもしれないけど、社会と地域って。そこも、もう少し落とし込めたらいいのかなと思います。

【阿部委員長】

ありがとうございます。そのへんも事務局で検討していただいて、なるべく、誰が見ても分かるというところが大事かなと思います。噛み砕いた形で表現ができるものはそういう表現の仕方にしていただければと思います。

ほかに何かございますか。今日お配りしたものですから、この場で見ただいて、なかなか意見を出すのは難しいかなというふうに思いますので、もし何かお気付きの点があれば、また、事務局までお寄せいただければと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、今回は、基本構想案、これをしっかりと作り込んだ中で提示をしていきたいというふうに思っておりますので、よろしく願いいたします。

それでは最後に、その他として事務局から何かありますでしょうか。

【事務局】

長時間に渡ってしまいました。本日はどうもありがとうございました。

最後に、事務局から、次回、第5回検討委員会の開催につきましては、2月12日（水）に開催を予定しております。なお、開始時間につきましては、会場の手配の都合で、大変恐縮ですが、夕方18：30からとなりますが、御理解のほどよろしく願いいたします。

なお、委員の皆様には、改めて、開催通知の方を送付させていただきます。

【阿部委員長】

ありがとうございます。次回が一応最終会ということになりますので、どうか皆さんよろしく願いいたします。

今日もたくさん頂いた御意見を反映させたものを、次回の最終回でお示しさせていただきたいというふうに思っています。

それでは長時間に渡りまして、本日はどうもありがとうございました。これを持ちまして第4回調布市立小学校施設整備検討委員会の方を終了させていただきます。お疲れ様でした。